

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	722	施策	文化財の保存と活用
管理事業	文化財保護事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業
事業概要				
旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用				
活動実績		年度	R2	R3
令和2年度からの大規模修繕の一環として、外塙の修理工事を実施した。		決算額（千円）	27,166	128,465
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日～令和3年6月20日の期間について臨時休館した。		一般財源の比率（％）	59.8	16.6
入館者数 令和3年度…96人、令和2年度…137人、令和元年度…49人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		旧西尾家住宅については、平成28年度から平成29年度にかけて耐震診断を実施した結果、大規模な解体修繕が必要と判断された。その後、平成30年度に発生した大阪府北部地震及び台風21号により多大な被害を受けたことから、被害実態や令和元年発足の旧西尾家住宅修理専門会議での検討結果を踏まえて、令和2年度以降約10年をかけて大規模修繕を進めていく。令和4年度から建物本体の保存修理工事を行うが、工事期間中の観覧等や工事終了後の活用が検討課題である。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 大規模修繕を円滑に進めるため、工事の進捗管理に努める。

2	所管室課	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅大規模修繕基金積立事業
事業概要				
旧西尾家住宅大規模修繕基金積立				
活動実績		年度	R2	R3
寄附金総額 令和3年度…5,644,000円、令和2年度…5,533,270円、令和元年度…5,003,000円		決算額（千円）	5,534	5,644
寄附件数 令和3年度…19件、令和2年度…19件、令和元年度…4件		一般財源の比率（％）	0.0	0.3
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		令和2年度から実施している旧西尾家住宅大規模修繕の財源確保を目的に、平成31年4月に旧西尾家住宅大規模修繕基金を設立した。今後は広く基金への寄附を募り財源確保に努める。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 市報・HPを活用し広く基金への寄附を募る。

3	所管室課	文化財保護課	事業名	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用事業
事業概要				
旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用				
活動実績		年度	R2	R3
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日～令和3年6月20日の期間について臨時休館した。		決算額（千円）	14,781	14,410
入館者数 令和3年度…499人、令和2年度…430人、令和元年度…1,878人		一般財源の比率（％）	99.9	99.8
春の特別公開 令和3年度 実施期間…令和3年4月3日～令和3年4月11日、入館者数…134人 令和2年度 実施期間…令和2年4月2日～令和2年4月7日、入館者数…34人 令和元年度 実施期間…令和元年4月2日～令和元年4月10日、入館者数…289人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
秋の特別公開 令和3年度 実施期間…令和3年11月20日～令和3年11月28日、入館者数…198人 令和2年度 実施期間…令和2年11月21日～令和2年11月29日、入館者数…203人 令和元年度 実施期間…令和元年11月23日～令和元年12月1日、入館者数…461人		令和元年度の耐震診断の結果、母屋棟、旧木小屋、内蔵で耐震性能の目標値（安全限界時層間変形角1/15rad.以下）を下回っているため、将来的に耐震対策工事が必要であり、補強案を検討した。その結果を踏まえて、令和4年度から2年をかけて（仮称）旧中西家住宅保存活用計画を策定する。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 令和4年度から令和5年度にかけて保存活用計画の策定を進める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	722	施策	文化財の保存と活用
管理事業	文化財保護事業	所管部局	地域教育部

4	所管 室課	文化財保護課	事業名	文化財保護事業	
事業概要					
文化財調査、文化財公開・啓発、文化財保存・活用、吹田学事始め					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
埋蔵文化財については開発等に伴う調査を実施し、調査報告書等作成のために年間を通じて整理を行ってきた。 国史跡七尾瓦窯跡・府史跡吉志部瓦窯跡工房跡などの教育委員会で管理する史跡等文化財を適正に管理するとともに、文化財説明板の設置・修繕等の文化財保護に関する普及啓発活動を推進するなど、文化財の保存、活用を図ってきた。また、指定や登録文化財については、補助金交付を通じて、所有者等の保護活動や保存会等の団体による伝統行事の保存・育成活動を支援し、これらを通じて市民の地域を愛する心や地域文化の醸成につなげてきた。 開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数 令和3年度…107件、令和2年度…75件、令和元年度…93件		決算額（千円）	12,464	15,982	
		一般財源の比率（％）	91.7	93.6	☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		埋蔵文化財調査は大半が民間の開発に伴い実施されるものであり、それに適切に対応するための体制整備が重要である。また、文化財の保護については所有者等の協力が不可欠であり、その啓発の必要性が高まっている。			
		継続			人材育成を図りながら、調査・啓発活動及び所有者等への支援を実施する。

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
					☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名